



## 道路網の整備、充実

### ● 現状と課題 ●

北勢地域では、新名神高速道路や東海環状自動車道などの整備が進められ、県境を越えた広域的な高速道路網が構築されつつあります。新名神高速道路については、平成31年3月に菰野インターチェンジが開設され、あわせて国道477号バイパスをはじめ、アクセス道路の整備が体系的に進められるとともに、町内の道路整備についても計画的に進められているところであります。

道路や橋りょうについては整備した後についても点検や維持、修繕などを継続して行う必要がありますが、そうした社会資本の長寿命化については、ライフサイクルコストの低減等だけでなく、災害時の動線確保の観点からも必要となります。

山間部に当たる湯の山地区の防災面の強化や観光拠点としての活性化を目的とした、国道477号と湯の山地区を結ぶ湯の山かもしか大橋についても供用が開始されたことにより、これからの湯の山地区の更なる活性化が見込まれます。こうした道路網の整備を観光や産業活動の活性化、生活利便性の向上につなげるため、用地未取得により道路整備の進捗が遅れている路線についても引き続き交渉を行い、段階的に道路ネットワークの充実に努めるとともに、歩行空間の充実など人にやさしい道づくり、災害時に十分機能を発揮できる安全な道づくり、観光地としての景観に配慮した道づくりなど様々な観点での道路整備が求められています。

### ● 目指す方向 ●

- ① 道路環境の維持、向上を図ります
- ② 地域幹線道路の整備を進めます
- ③ 生活幹線道路、生活道路の整備を進めます
- ④ 高規格道路の整備を促進します

### ● 関連する個別計画 ●

- ・ 菰野町都市マスタープラン（①～④）
- ・ 菰野町道路マスタープラン（①～④）
- ・ 菰野町国土強靱化地域計画（①～③）
- ・ 菰野町橋梁長寿命化修繕計画（①）

### ● それぞれの役割 ●

町民・地域の役割	行政の役割
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路整備に興味、関心を持ち利便性を重視した道路整備を考える機会を持つ</li> <li>・ 道路整備に関する地域の話し合いの場へ参加する</li> <li>・ 道路整備事業への協力（用地買収、道路後退など）に対して理解する</li> <li>・ 緊急性のある道路異常箇所の連絡に協力する</li> <li>・ 自宅周辺の除草と除雪に協力する</li> <li>・ 道路障害となる自身の敷地の樹木などの管理に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市計画道路、歩道等の計画的な整備を実施する</li> <li>・ 災害時における緊急輸送路や避難路の確保に努め、災害に強い道路となるよう整備に努める</li> <li>・ 道路管理者としての適切な維持管理を実施する</li> <li>・ 全職員で町民と同様に道路異常について注意を払う</li> <li>・ 緊急性のある道路異常について早急に対応する</li> <li>・ あらかじめ定められた主要な道路の除草、除雪を実施する</li> </ul>